

# 2022年3月期 第2四半期 決算説明会

2021年11月1日



# I. 決算

1. 決算のポイント
2. 第2四半期の業績
3. 通期の業績予想

## 2022年3月期 第2四半期決算のポイント

1. 部品供給不足や自動車メーカー減産などに伴う稼働調整などがあったものの、第2Q(累計)の業績は、増収・増益
2. 通期の業績予想について、各事業の販売台数、為替、原材料価格の状況などを踏まえ、前回予想を据え置き
3. 期末配当金を90円とし、通期で170円を計画

# 業績<2Q実績>

(単位:億円)

	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	増減	
				率
売上高	9,570	12,608	3,038	31.7%
営業利益	302	943	641	212.5%
税引前利益	652	1,378	726	111.3%
純利益	481	1,033	552	114.9%
1株当たり 純利益	154円95銭	332円99銭	178円04銭	-
1株当たり 配当金	70円	80円	10円	-
U S \$	107円	110円	3円	-
ユ ー ー 口	121円	131円	10円	-

・調達部品の供給不足や自動車メーカー減産などに伴う稼働調整があったものの、前期比では、自動車・産業車両の両事業における販売拡大により、増収・増益

# セグメント情報<2Q実績>

上段:売上高 下段[ ]:営業利益

(単位:億円)

		21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	増減	率
自動車	車両	412	421	9	2.1%
	エンジン	578	1,124	546	94.2%
	カーエアコン用コンプレッサー	1,254	1,665	411	32.7%
	電子機器ほか	252	392	140	55.6%
	計	2,498 [▲175]	3,603 [148]	1,105 [323]	44.2%
産業車両	6,629 [470]	8,437 [735]	1,808 [265]	27.3%	
繊維機械	178 [▲11]	303 [23]	125 [34]	69.6%	
その他	263 [17]	264 [36]	1 [19]	0.4%	
合計	9,570 [302]	12,608 [943]	3,038 [641]	31.7%	

## 販売台数

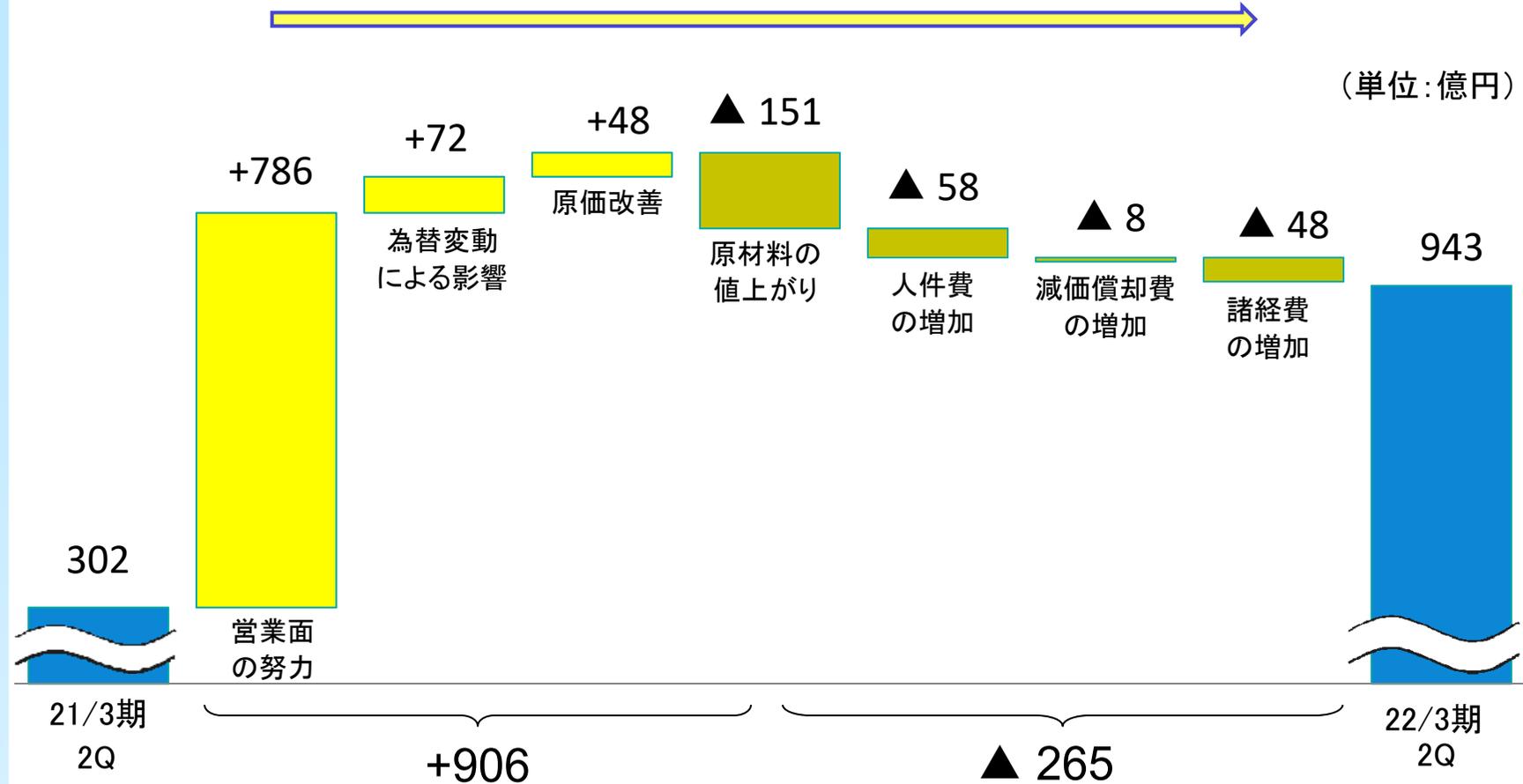
(単位:千台)

		21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	増減
車両 (RAV4)		147	156	9
エンジン計	ディーゼル	141	196	55
	ガソリン	191	184	▲7
エンジン計		332	380	48
カーエアコン用 コンプレッサー		万台 1,159	万台 1,384	万台 225
産業車両		118	135	17
エアジェット 織機		1.9	2.9	1.0

- 車両 : RAV4が国内、海外向けともに増加
- エンジン : 主にGD型ディーゼルエンジンが増加
- コンプレッサー : 欧州や北米などで増加
- 産業車両 : フォークリフト事業、物流ソリューション事業とも増加

# 営業利益の増減要因 <2Q実績>

営業利益 +641億円 (302 → 943億円)



・原材料の値上がり、人件費の増加などがあったものの、  
主に営業面の努力により増益

## 業績<2Q実績>

(単位:億円)

	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	増減	
				率
設備投資	590	611	21	3.6%
減価償却費	457	466	9	2.1%

- ・設備投資は産業車両やコンプレッサーを中心に増加したことで、全体としては増加

## 業績<2Q実績>

(単位:億円)

	21/3期 期末	22/3期 2Q	増減	
				率
資産合計	65,039	69,172	4,133	6.4%
資本合計	33,225	36,593	3,368	10.1%
親会社所有者 帰属持分比率	49.8%	51.6%	—	—
連結子会社	256社	260社	—	—

・投資有価証券の評価額増加などに伴い、資産合計は増加

## 業績<通期予想>

部品供給不足や自動車メーカー減産の影響、原材料価格の上昇などが減益に影響する一方、円安傾向の為替やフォークリフト事業におけるバリューチェーンの好調などが増益に貢献し、全体では通期業績予想は前回予想を据え置き

(単位:億円)

	21/3期	22/3期	増減		前回発表
				率	
売上高	21,183	26,000	4,817	22.7%	変更なし
営業利益	1,181	1,500	319	26.9%	”
税引前利益	1,840	2,250	410	22.3%	”
純利益	1,367	1,650	283	20.7%	”
1株当たり 純利益	440円28銭	531円43銭	91円15銭	-	”
1株当たり 配当金	150円	170円	20円	-	”
配当性向	34.1%	32.0%	-	-	”
U S \$	106円	110円	4円	-	106円
ユ ー ー 口	124円	130円	6円	-	127円

# セグメント情報 売上高・営業利益 <通期予想>

上段:売上高 下段〔 〕:営業利益

(単位:億円)

	21/3期	22/3期	増減		前回発表
				率	
車両	883	930	47	5.2%	950
エンジン	1,399	2,630	1,231	87.9%	2,700
カーエアコン用コンプレッサー	3,016	3,370	354	11.7%	3,550
電子機器ほか	616	900	284	45.9%	1,000
自動車計	5,916 〔47〕	7,830	1,914	32.3%	8,200
産業車両	14,314 〔1,099〕	17,100	2,786	19.5%	16,800
繊維機械	408 〔▲11〕	570	162	39.5%	500
その他	543 〔44〕	500	▲43	▲8.0%	500
合計	21,183 〔1,181〕	26,000 〔1,500〕	4,817 〔319〕	22.7%	26,000

## セグメント情報 販売台数 <通期予想>

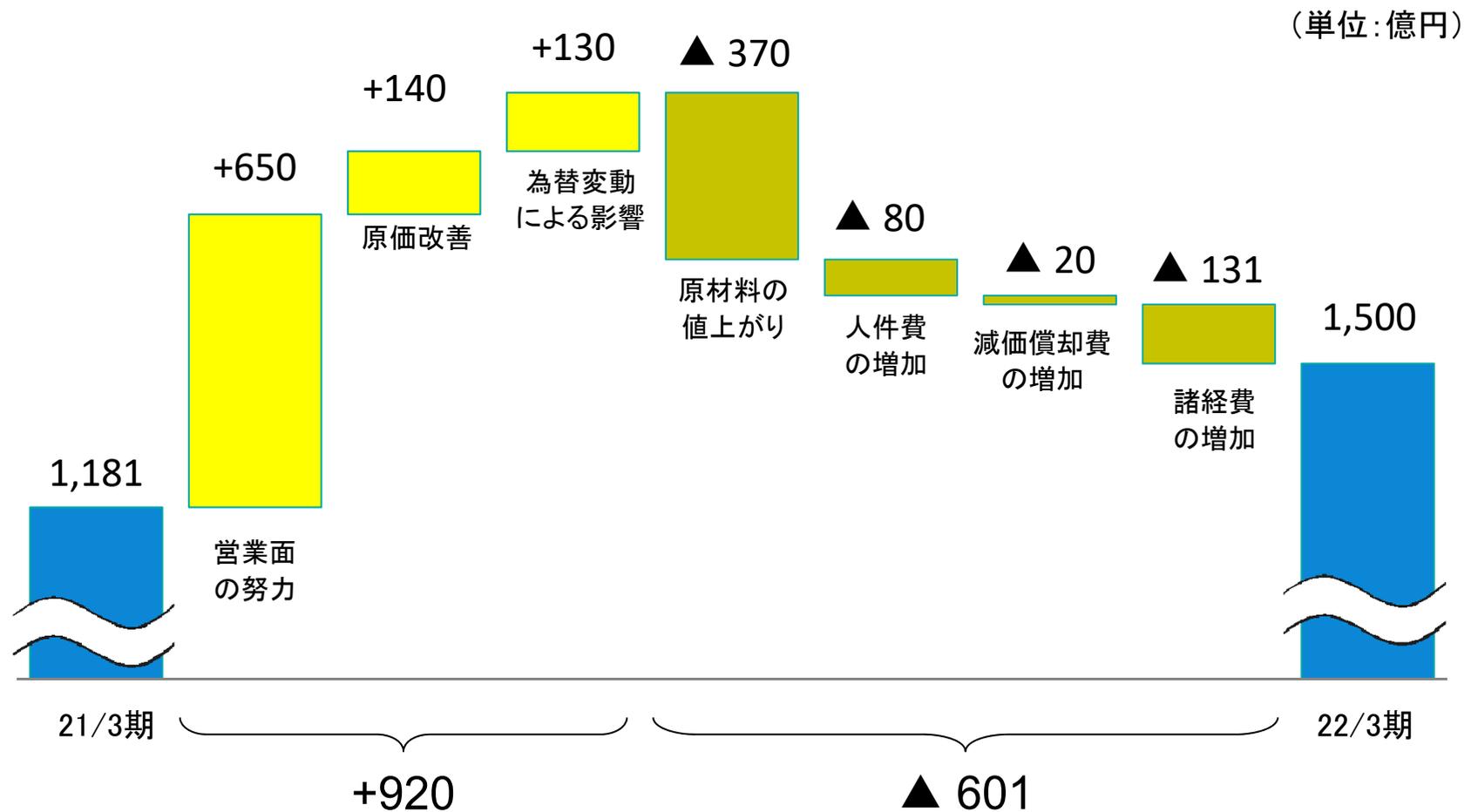
販売台数

(単位:千台)

	21/3期	22/3期	増減	前回発表
車両 (RAV4)	323	330	7	337
ディーゼル ガソリン	362	439	77	431
	403	401	▲2	431
エンジン計	765	840	75	862
カーエアコン用 コンプレッサー	万台 2,751	万台 2,884	万台 133	万台 3,160
産業車両	250	296	46	309
エアジェット 織機	4.7	7.0	2.3	5.9

# 営業利益の増減要因 <通期予想>

営業利益 +319億円(1,181→1,500 億円)



## 業績＜通期予想＞

(単位:億円)

	21/3期	22/3期	増減	
				率
設備投資	1,133	1,400	267	23.5%
減価償却費	910	930	20	2.1%

## Ⅱ. 事業の取り組み

## サプライチェーン寸断の影響

### 半導体の供給不足、および東南アジアでのロックダウン

#### ■ 当社部品調達への影響と対応

- ・生産は継続できているが、欠品や供給量不足によりフォークリフトやコンプレッサーなどの一部製品の生産調整を実施
- ・納入前倒しや設計変更による代替品の採用などの対応を継続し、必要部品の安定確保に注力
- ・半導体メーカーとの中長期枠取り交渉や、BCP在庫確保を検討

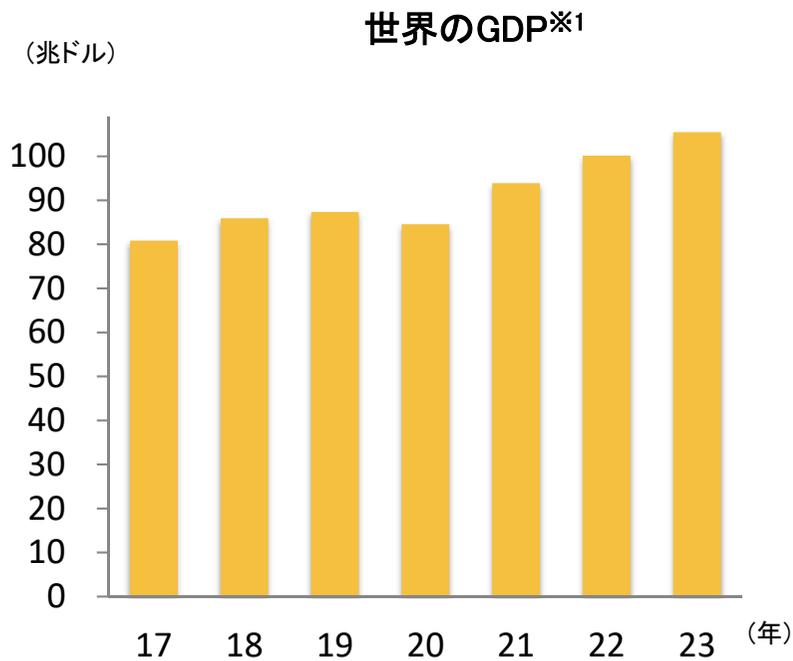
#### ■ 自動車メーカー減産による影響

- ・車両、エンジン、コンプレッサー、カーエレクトロニクス、電池事業において稼働日調整、年度内挽回策を検討
- ・部品供給リスクは継続見込み

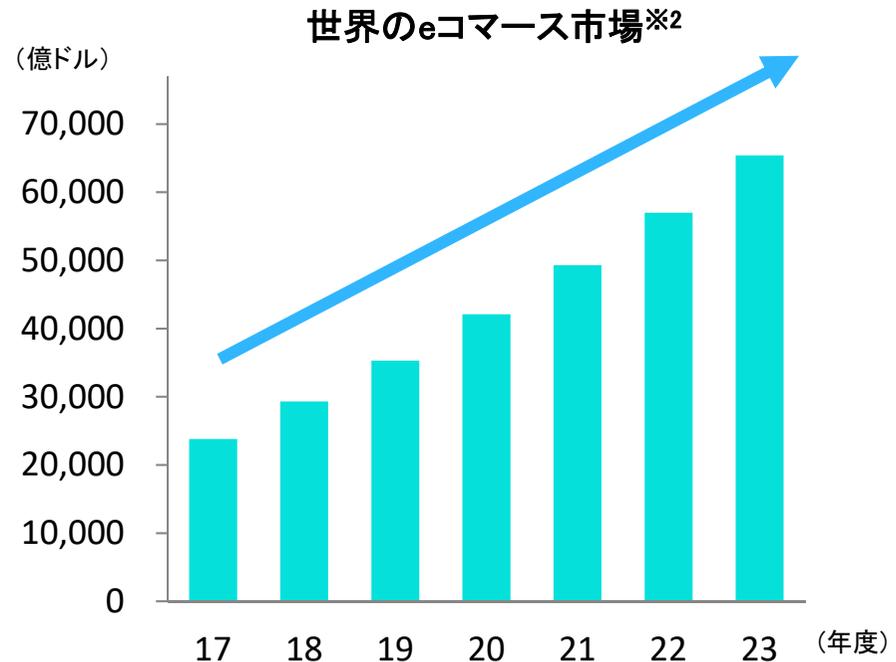
# 産業車両

## 1. 事業を取り巻く環境

- ・ワクチン接種進展に伴う世界景気の緩やかな回復
  - ・eコマースの一層の拡大
  - ・ソーシャルディスタンスの定着
  - ・新興国を中心とした人件費の上昇
- 省人化・自動化ニーズが拡大



※1: IMF, World Economic Outlook, April 2021  
(21年、22年、23年は予想)

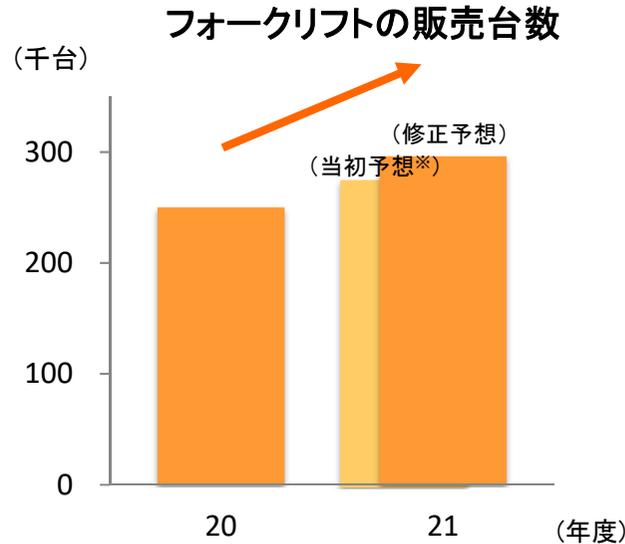
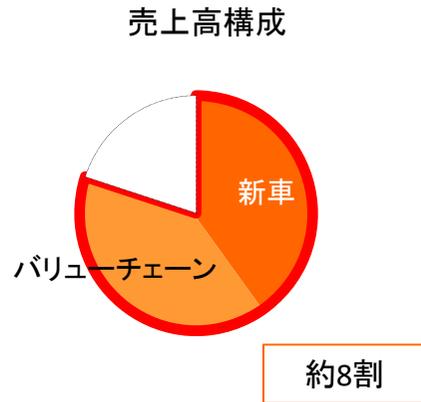


※2: 経済産業省「令和元年度 内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業(電子商取引に関する市場調査)報告書(令和2年)をもとに当社作成

# 産業車両

## 2. 販売の状況

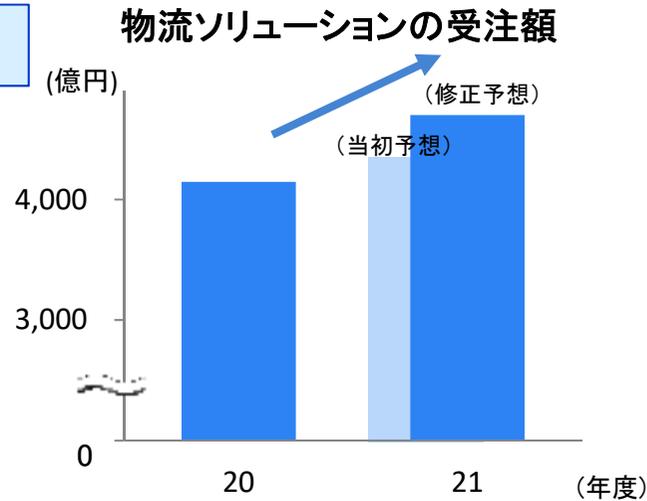
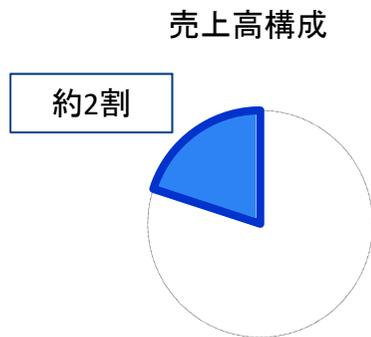
### フォークリフト



- ・先進国を中心とした経済活動再開に伴う需要の回復
- ・eコマース市場拡大による新規需要増加

※ 北米での出荷停止影響調整後

### 物流ソリューション



- ・自動化・省人化ニーズ拡大により受注は堅調
- ・小売・流通・eコマース向けを中心に大きく伸張

## 産業車両

### 3. 自動化の取り組み

#### ■ AI搭載自動運転フォークリフトによる省人化ニーズへの貢献

- ・荷主間の計画的かつ効率的なトラック運行を実現することで、  
サプライチェーン全体の効率化・省エネ化に取り組む実証事業※を実施

※大和ハウス工業、イオングローバルS C M、花王、日立物流との共同事業



AIを搭載した自動運転フォークリフト

トラックの積み降ろしを自動化するために、  
AI搭載の自動運転フォークリフトの実用化をめざす

## 産業車両

### 4. 水素普及への取り組み

#### ■ 燃料電池搭載商品



MIRAIと同じセル  
(TMCより供給)

FCフォークリフト



FCトローイングトラクター



FCユニット  
(内製)

#### ■ 小型FCモジュール

- ・水素社会の実現には、**インフラの整備**や**FCモジュールの普及**が必要

- ・FCシステム関連部品をパッケージ化し  
**小型汎用FCモジュール**を新開発  
⇒ **小型モビリティ**や**定置式発電機**  
などでの活用をめざす



FCモジュールイメージ

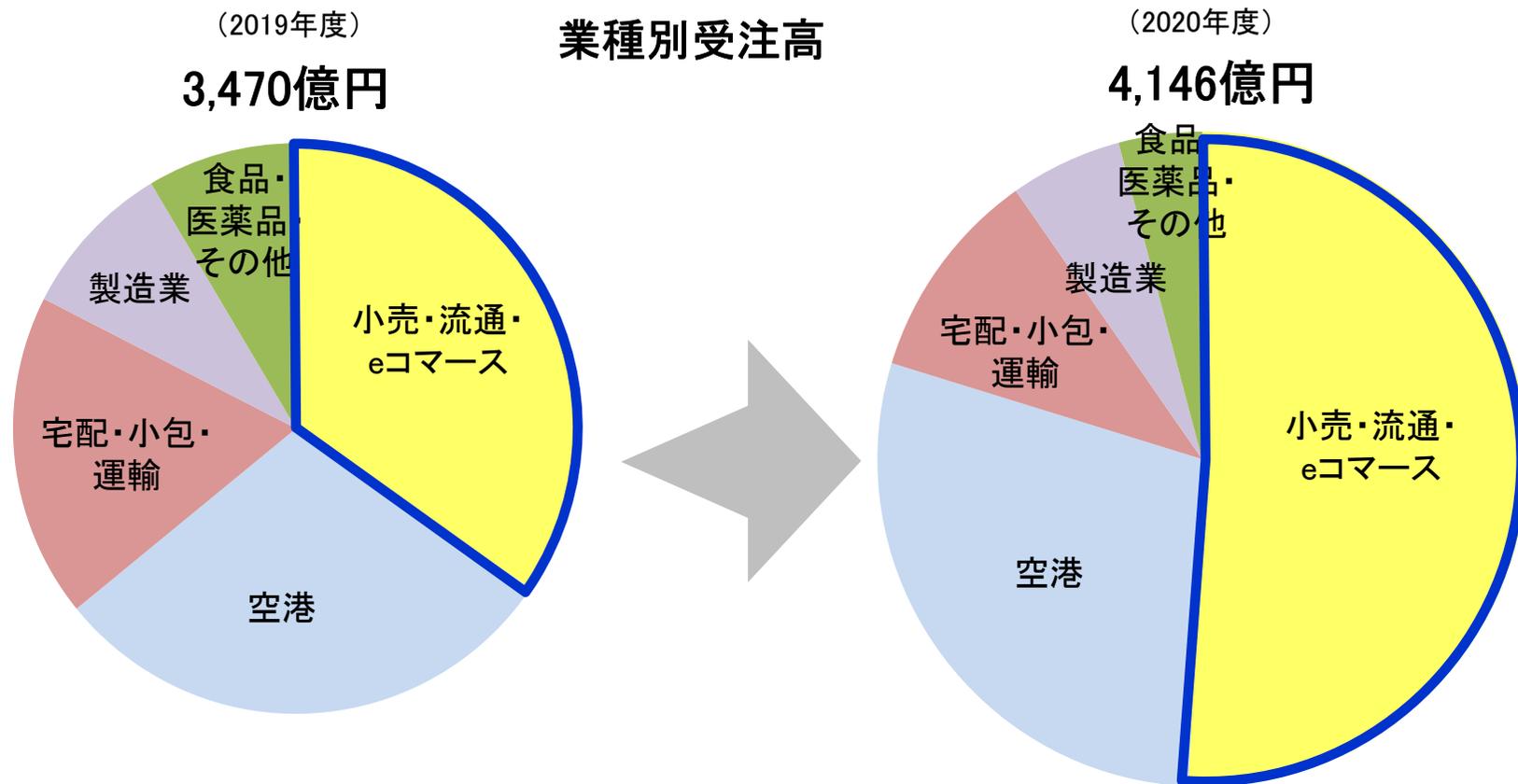
水素社会の実現に貢献

## 産業車両

### 5. 物流ソリューション事業の取り組み(1/3)

#### ■ 多様なお客様の業種構成

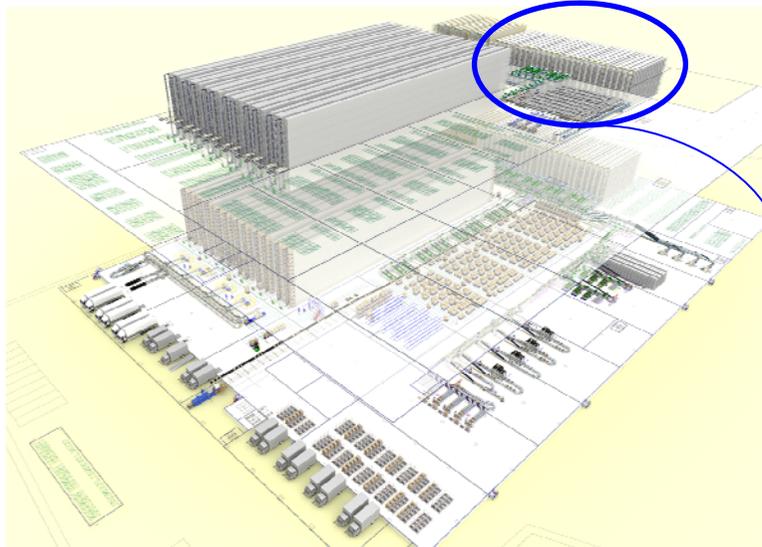
- ・eコマースや空港、宅配・小包、製造業など**多様なお客様の業種構成**
- ・**小売・流通・eコマース**が大きく伸張



5. 物流ソリューション事業の取り組み(2/3)

■ 当社とファンダランデ社の連携

- ・医療関連製品を手がける国内大手業者の**物流センター構築プロジェクト**を受注
- ・ファンダランデ社の**高速保管・ピッキング装置ADAPTO**を国内初導入



ADAPTO①  
シャトル100台



ADAPTO②  
シャトル100台



### 5. 物流ソリューション事業の取り組み(3/3)

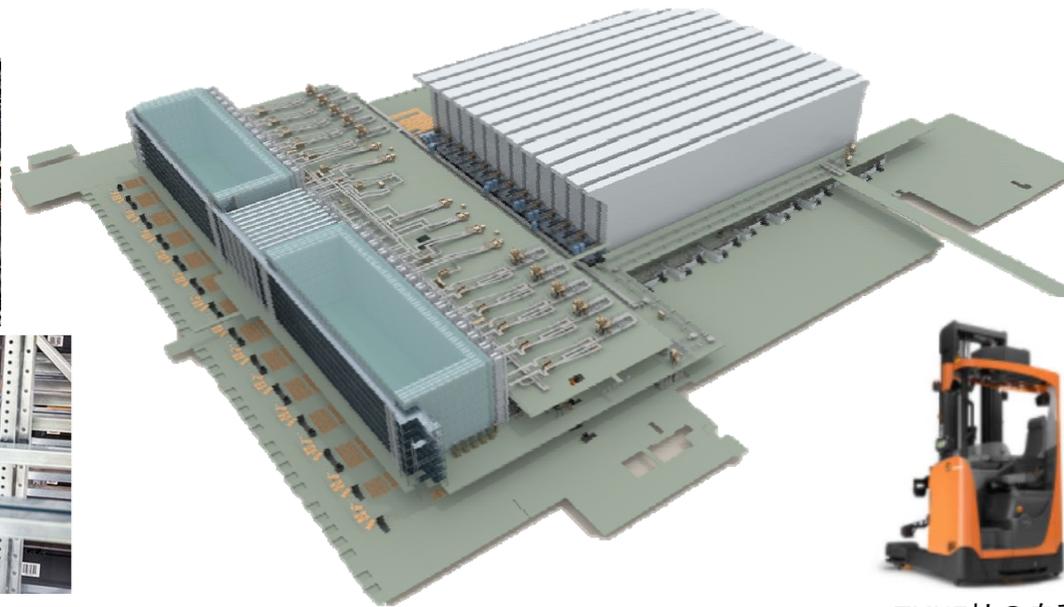
#### ■ファンダランデ社とTMHE社※の連携

※トヨタ マテリアル ハンドリング ヨーロッパ株式会社(産業車両事業の欧州統括会社)

- ・大手スーパーマーケットチェーンの**大規模物流センター**向けの案件を**ファンダランデ社とTMHE社が連携して受注**
- ・ファンダランデ社の**物流システム・機器**およびTMHE社の**自動運転フォークリフト**を供給



ファンダランデ社の物流システム・機器



TMHE社の自動運転フォークリフト

## 産業車両

### 6. 米国でのフォークリフト一部機種出荷停止の件

- 米国工場で生産するエンジン式フォークリフトの一部機種
- 搭載エンジンに対する米国環境当局の認証が取得できておらず今年1月から出荷停止、6月から生産停止

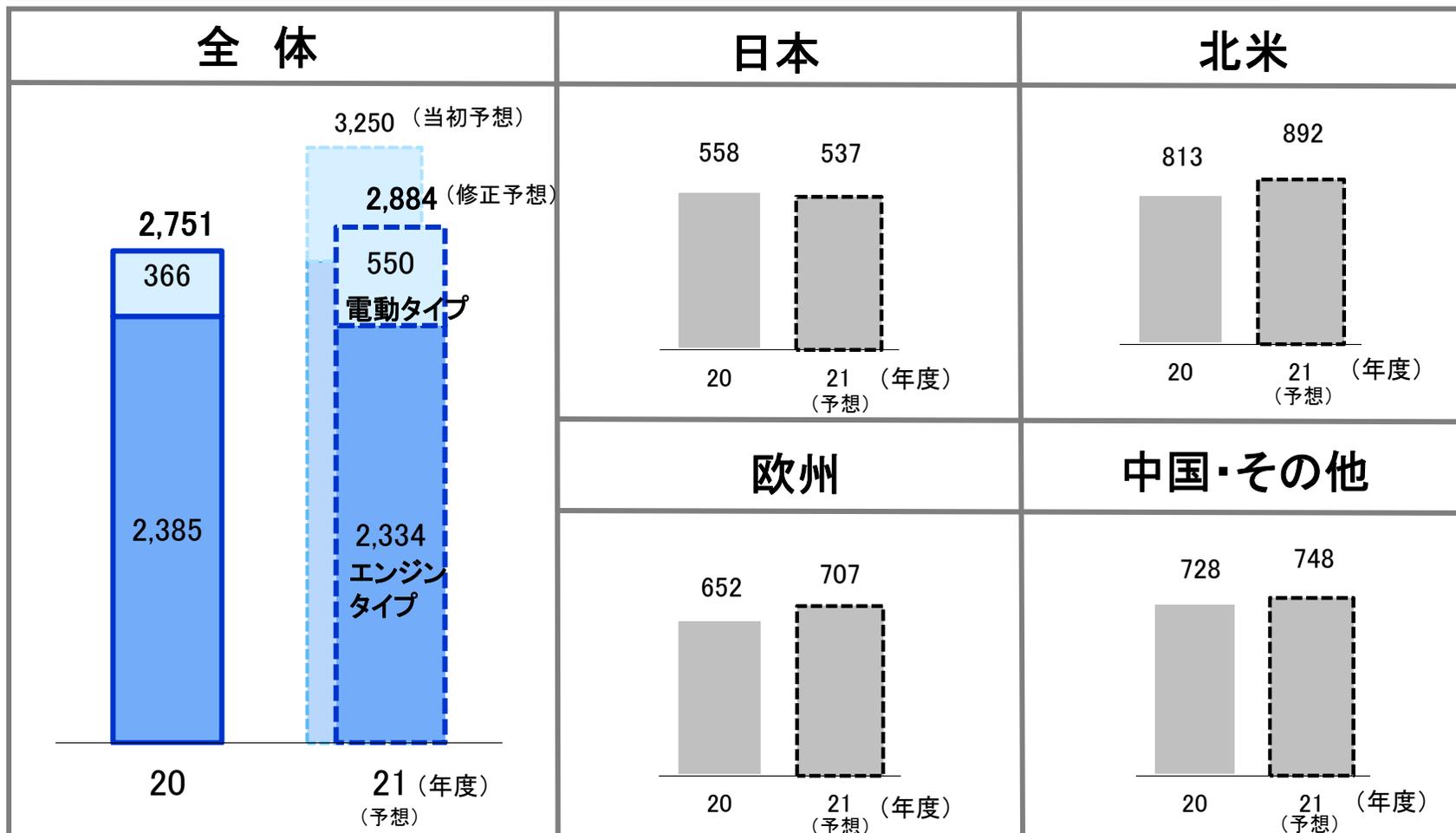
- ・当局とは協議を継続中
- ・当局へ誠実に対応し、出荷再開をめざす
- ・協議の進捗など、開示すべき事項が発生した場合、速やかに開示

# コンプレッサー

## 1. 足元の販売見通し

- ・自動車メーカー減産の影響で通期販売予想を下方修正
- ・昨年度比ではエンジンタイプは前年並み、電動タイプは増加

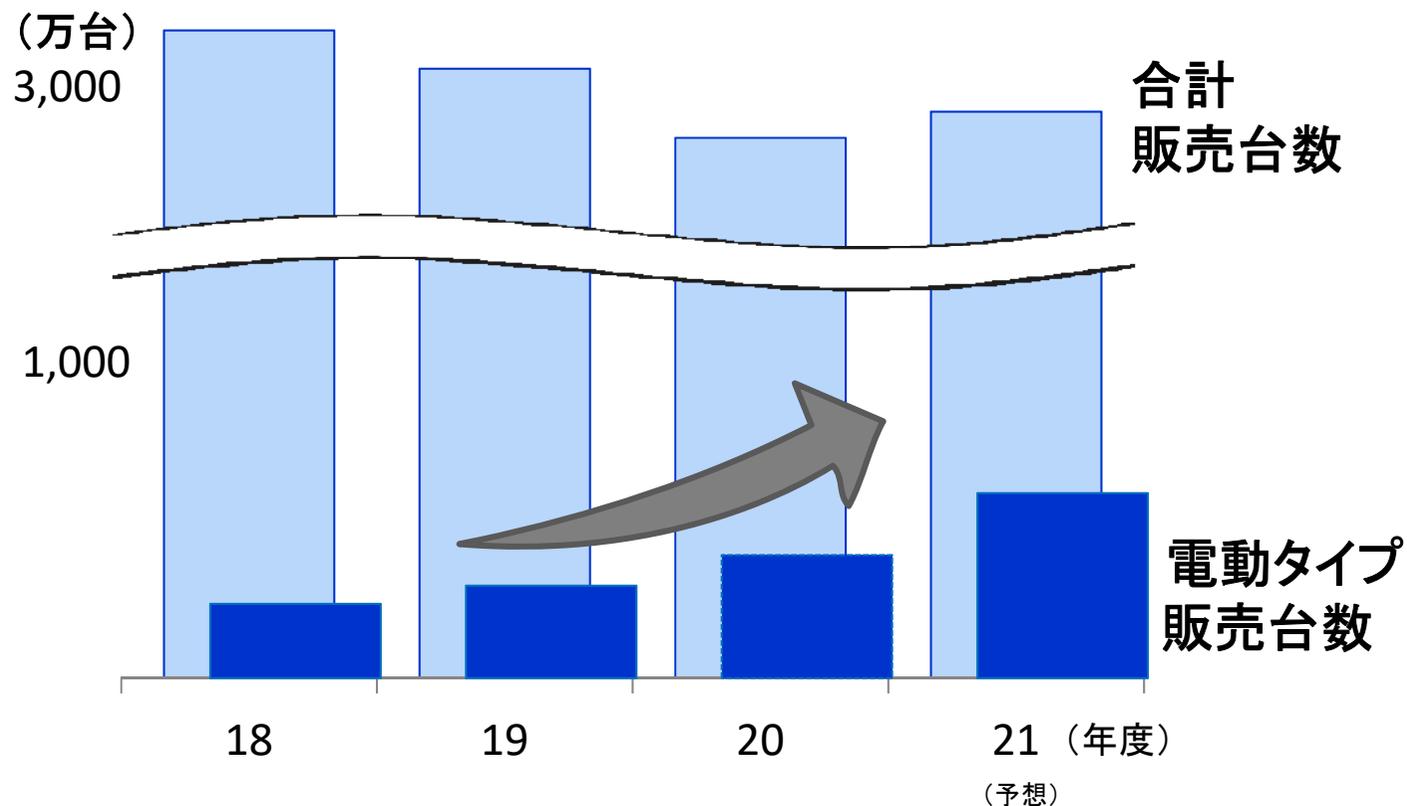
(単位:万台)



## コンプレッサー

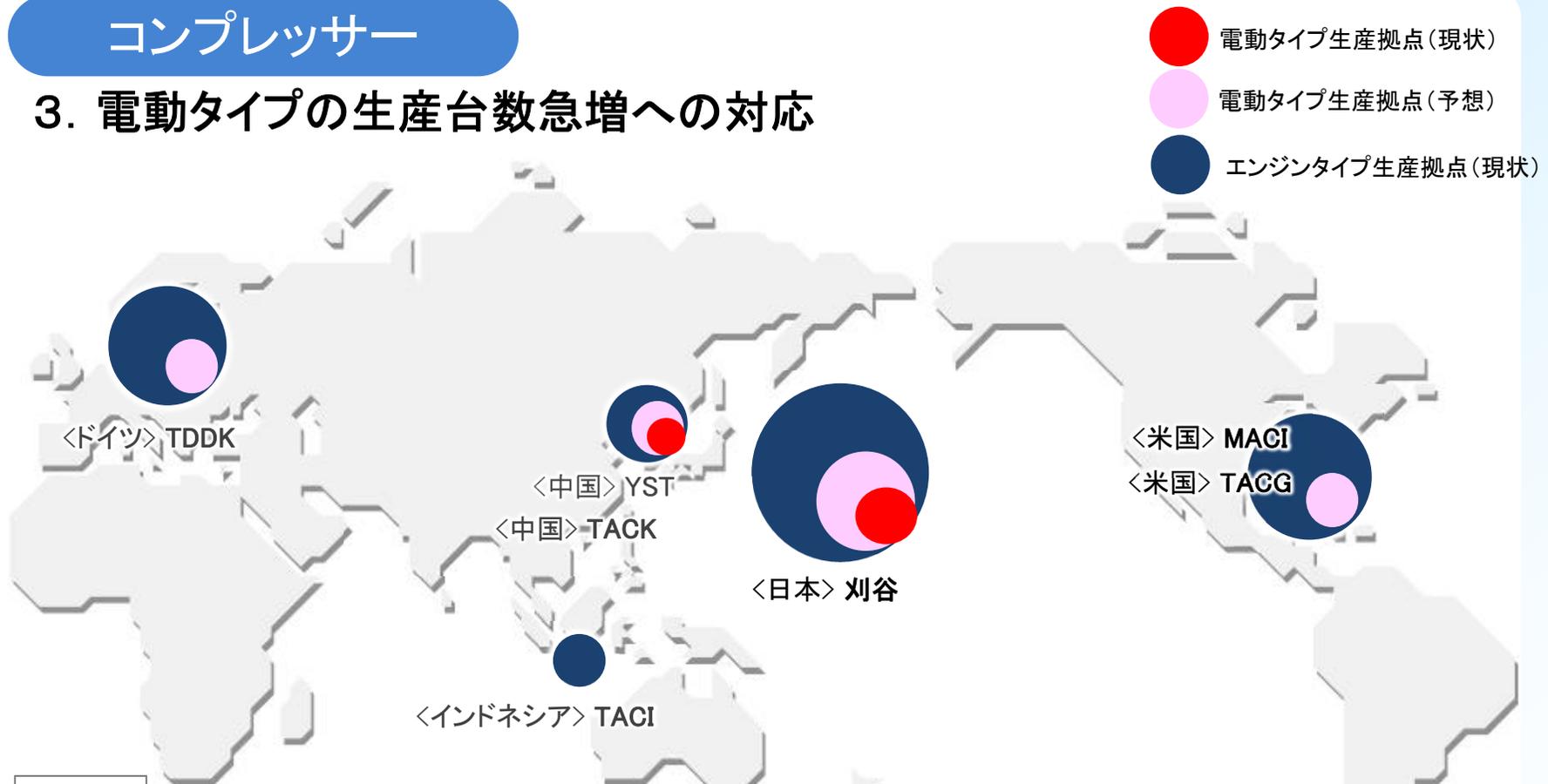
### 2. 電動タイプの拡大

- ・カーボンニュートラル機運の高まり、各国環境規制強化などを受け、自動車メーカー各社が**電動化シフトを加速**
- ・世界中の自動車メーカーからの受注により、当社**電動タイプ**の**販売台数が拡大**



## コンプレッサー

### 3. 電動タイプの生産台数急増への対応



#### 日本

- ・刈谷工場および、関係会社において**生産体制を強化**
- ・東浦工場では**基幹部品**生産ライン**新設着手**

#### 中国

- ・21年6月、YSTでの生産を開始。**更なる能力増強を検討**

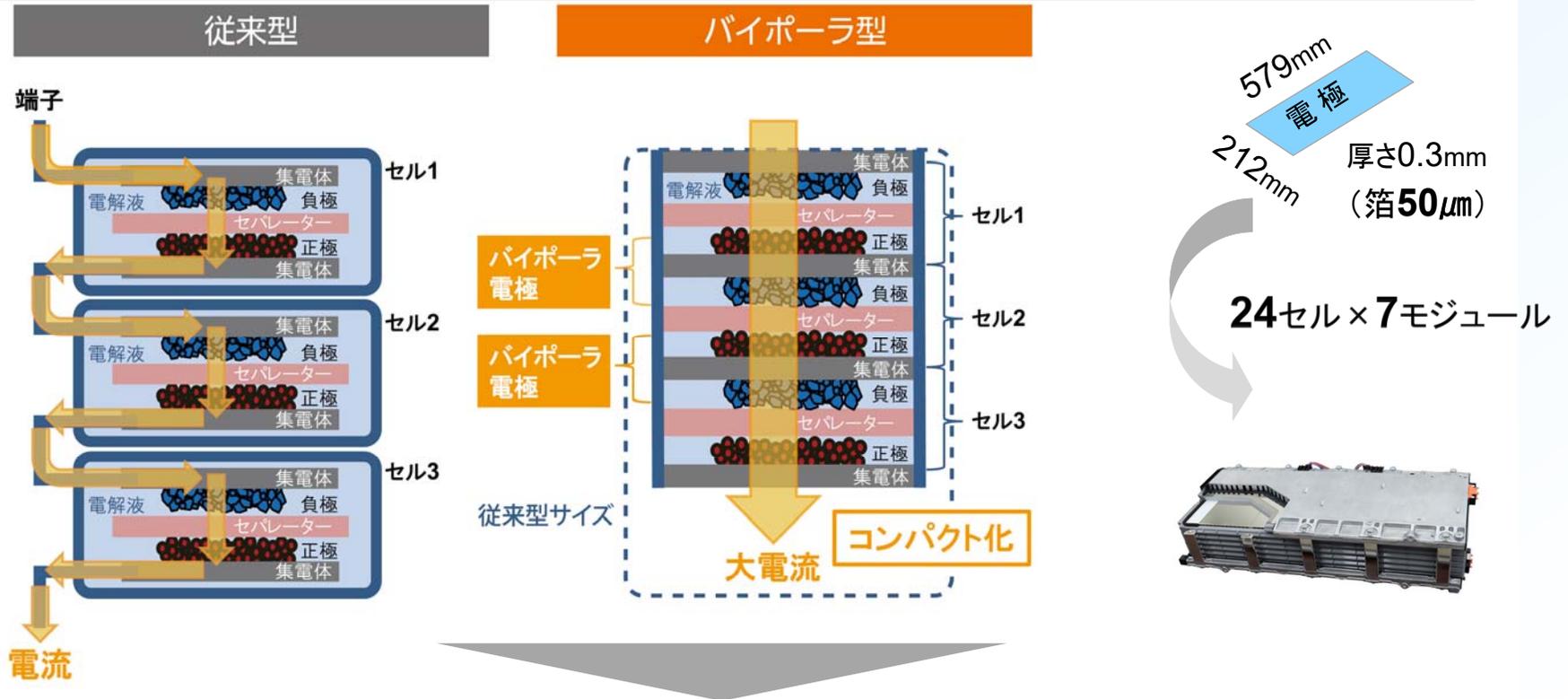
#### 欧米

- ・今後の受注動向に合わせ、**欧米での生産も検討**

# 電池

## 1. バイポーラ型ニッケル水素電池の概要

- ・革新的構造のセルにより、コンパクト・高出力化を実現
- ・通電面積が広くシンプルな構造により、電池内の抵抗が低減することで、大電流化



従来型電池に比べ、約2倍の高出力を実現

# 電池

## 2. 電池生産体制の構築

- ・共和工場で新型アクアに搭載の電池を**生産開始**
- ・2022年度石浜工場に**新しい生産ライン**を立ち上げ  
搭載車種拡大へ対応



建設中の石浜工場

# 新型アクアを支える当社商品

快適な車室内空間やパワフルな走行に貢献

・電動コンプレッサー



- ・PCUケース
- ・リアクトル
- ・DC-DCコンバーター



・ACインバーター



・バイポーラ型  
ニッケル水素電池



・リアインバーター

## エンジン

### 新型ランドクルーザーの走破性と燃費、静粛性に貢献



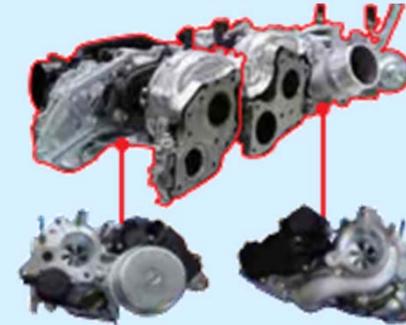
当社新開発のF33型  
ディーゼルエンジン



ランドクルーザー300  
(2021年8月 発売)

#### 新型V6ディーゼルエンジンの特徴

- ・排気量に応じて稼働する  
平行シーケンシャル  
ターボで**低燃費と  
出力性能を両立し  
加速レスポンスも向上**



平行シーケンシャルターボ

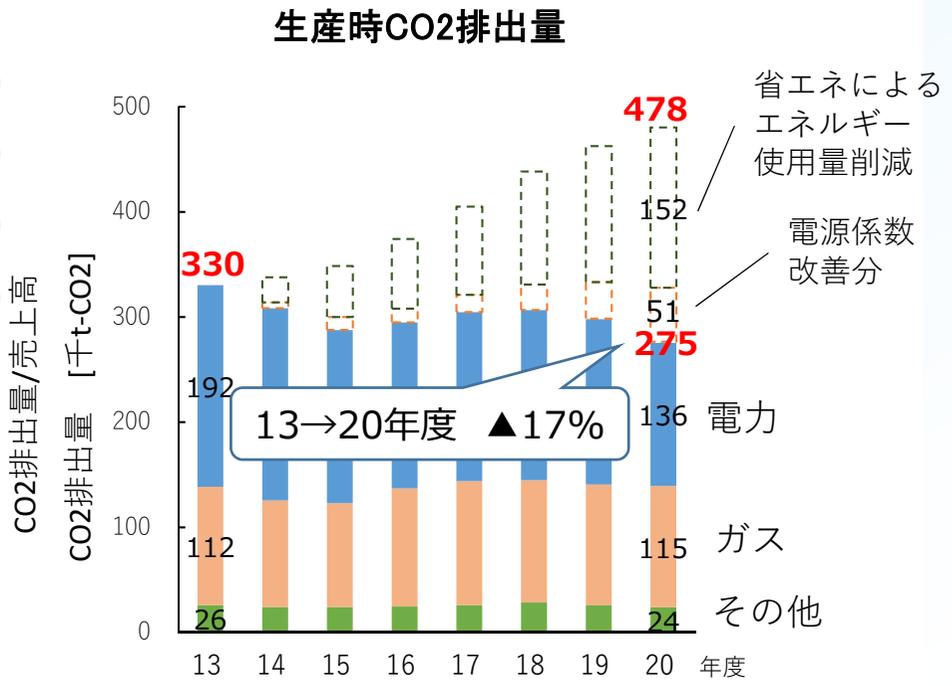
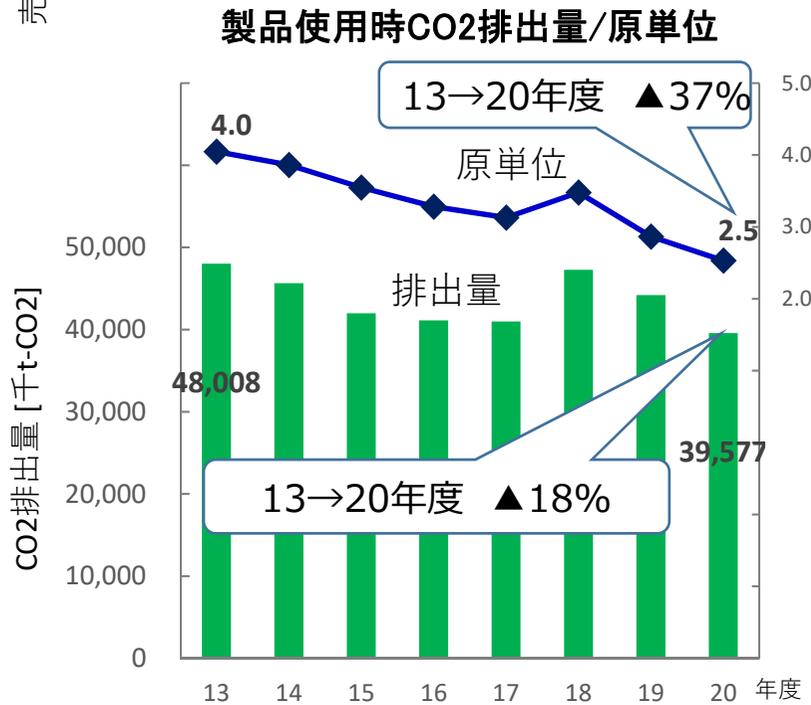
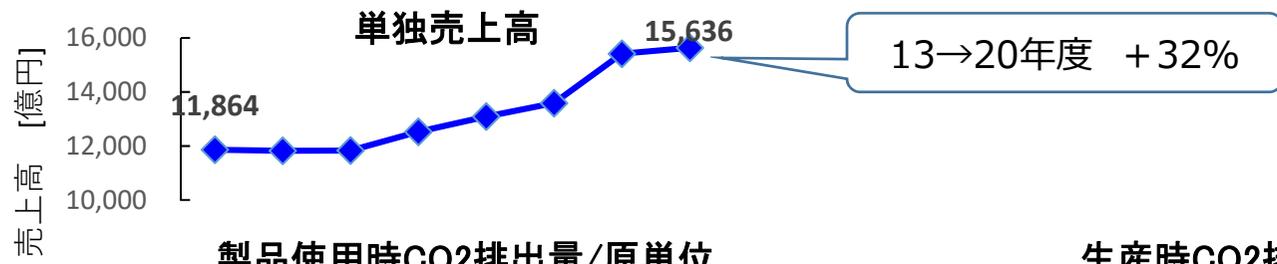
- ・8気筒から6気筒へ**気筒数を削減**する事で  
**質量を低減し、新型車両の運動性向上**に貢献
- ・当社開発で**環境性能と騒音低減を両立**した  
ディーゼルエンジン燃焼技術を  
世界で初めて自動車に活用

## Ⅲ. カーボンニュートラル に向けた取り組み

# 環境

## 1. CO2削減活動の振り返り

- ・製品開発および生産の両分野でCO2排出量を削減
- ・20年度は13年度比で売上高3割増に対し、排出量2割削減

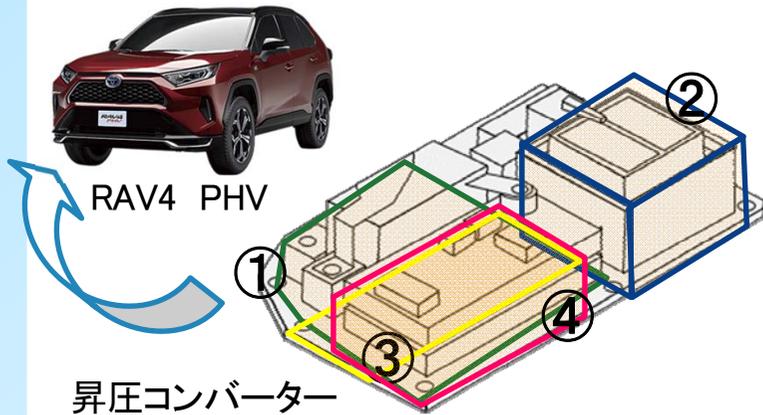


## 環境

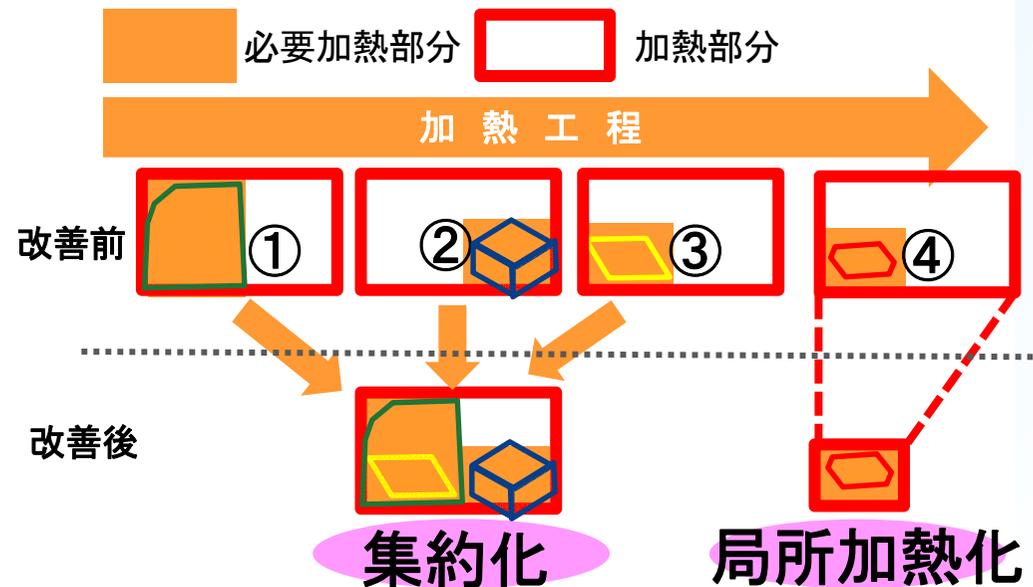
### 2. 製品・工程の同期開発による省エネラインの構築

#### ■RAV4 PHV向け昇圧コンバーターのラインでCO2排出量72%削減

- ・製品設計と工程設計を同時に実施し、加熱工程の集約化、局所加熱工法を導入



加熱に必要な材料の特性の  
共通点を見つけ出した



生産性・品質・コストだけでなく省エネ視点を含めた  
工程設計手法を標準化し、工場全体でのCO2排出量削減をはかる

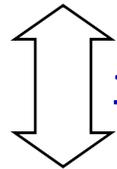
## 環境

### 3. 気候変動問題における最近の社会動向の変化

#### 米国

- 2050年 カーボンニュートラル達成
- 2030年 CO2削減目標 50-52%

20年11月バイデン政権誕生以降急激に変化



主導権争い

#### 欧州

- 2050年 カーボンニュートラル達成
- 2030年 CO2削減目標 55%

国境炭素税の制度化検討(自国産業保護)

#### 日本

- 2050年 カーボンニュートラル
- 2030年CO2削減目標 26% → 46%

⇒ カーボンニュートラルを宣言、  
目標の大幅引き上げ

#### 中国

- 2060年 カーボンニュートラル
- 欧米日を様子見

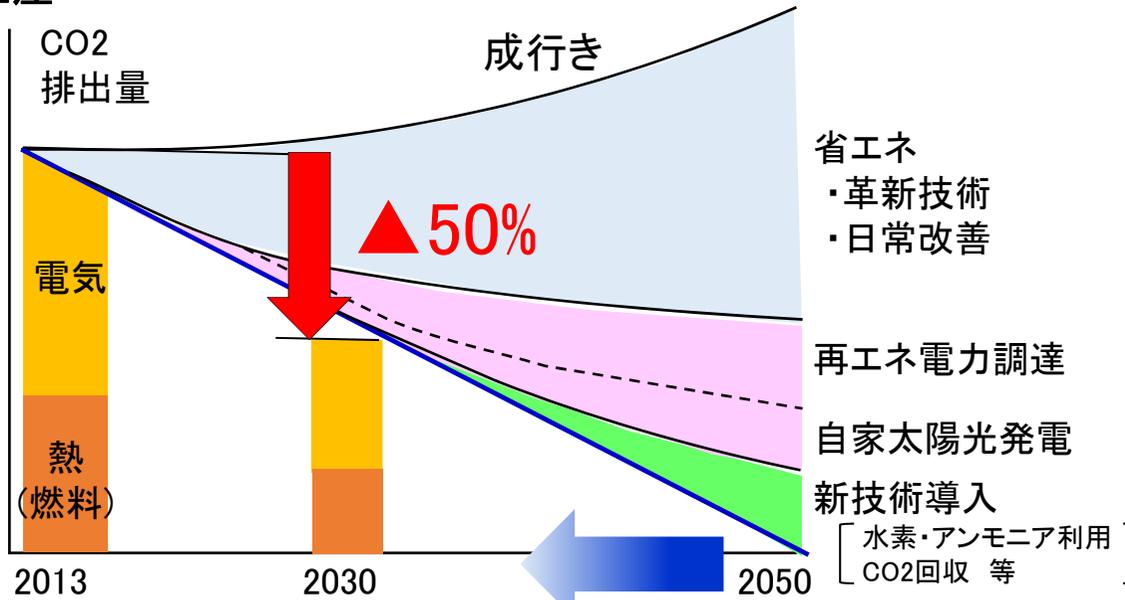
# 環境

## 4. CO2排出削減に向けた取り組み

製品



生産



カーボンニュートラル  
前倒しを検討

- ・各事業分野での**環境配慮型製品**の開発加速
- ・徹底した**省エネ活動**や**再エネ電力活用**、**新技術開発**の推進
- ・**モーダルシフト**や**積載効率向上**等による**輸送効率の改善**

## 将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しのみで全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。

実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。